

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
http://www.city.ikeda.
osaka.jp/

いけだ
No.174
だ

いけだ市議会だより

令和3年(2021年)5月1日



光明公園にて

3月定例会	2
意見書	2
1月臨時会	3
議決結果	3
各派代表質問	4
委員会レポート	10
議会日誌	11
百条委員会の開催概要について	12
議会からの提言について	12
やまばと	12

池田市議会 録画映像配信を行っています

市議会では議会改革の一環として、令和2年3月定例会より録画映像配信を開始しております。
本号 P.4～P.9に掲載の代表質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像 🔍





3

月定例会



3月定例会は、3月1日に開会し、市長から報告案件1件と令和3年度各会計予算など議案31件と人事案件1件が提出され、本会議及び委員会等で審議を行い、否決した1件及び修正可決した1件を除き、いずれも承認・可決・同意しました。

市長の「令和3年度施政及び予算編成方針」と教育長の「令和3年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月8日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして3月29日には、市長から提出された追加議案3件と議員提出議案1件並びに決議案1件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、市長の不信任決議案に関する動議が提出されましたが、賛成少数で否決し、3月定例会を閉会しました。

令和3年度予算を修正可決 一般会計予算は394億円

令和3年度の予算総額は、87億515万円で前年度当初予算に比べて1.6%、13億7329万円の減となっています。そのうち一般会計予算は、394億1700万円で、前年度当初予算と比べて0.3%、1億700万円の増となっています。

一般会計の重点施策としては、以下の通りです。

《にぎわいと活力あるまちの分野》
栄本町のコミュニティセンター・

池田会館等に代わる市民活動・地域交流の拠点として（仮称）池田地域交流センターを整備する事業に6億2630万円、せせらぎモールの改修に向けた検討に1千万円を計上しています。

《福祉の分野》
重度障がい者タクシー料金補助事業に1233万円、地域とつながりの少ない高齢者の社会参加を促す一般介護予防事業に1千万円、敬老の里プロジェクト推進事業に500万円を計上しています。

《子育ての分野》
北豊島地域のOPH石橋テラス敷地内及び（仮称）石橋地域拠点

施設内に、地域子育て支援拠点を整備するため7449万円、市内の私立保育所等に対する新型コロナ対策補助として、2400万円を計上しています。

《環境の分野》
プラスチックごみ削減、再資源化として、「レジ袋」及び「ペットボトルのキャップ・ラベル」の分別収集拡大に100万円、防災機能を備えた憩いの場として満寿美公園整備事業に1億8千万円を計上しています。

《教育の分野》
小学校及び義務教育学校の体育館に空調設備を整備するため6億2千万円、スクールカウンスラー・スクールソーシャルワーカーの配置拡充に908万円、（仮称）石橋地域拠点施設に図書館を整備するため5億7053万円を計上しています。

一般会計予算の反対意見としては、阪急石橋阪大前駅の鉄道高架化調査事業は過去の調査や問題点の検証不足で、高架化ありきは市民のためと言えない。また、顧問は、市長や副市長に対する助言が目的であるなら公の任用は不要。さらに、子どもたちがコロナ禍でストレスを感じている中、チャレンジテスト、すくすくテストは実施すべきでないなどの意見が出されま

した。

一方、賛成意見としては、阪急石橋阪大前駅の鉄道高架化調査事業は技術的な視点からの検討で最重要課題の一つである。また、顧問は市政に役立つ助言をいただくものでマイナスではない。さらに、全小学校等の体育館の空調機器整備は避難場所となり必要であるなどの意見がありました。結局、鉄道高架化調査事業及び顧問の人件費を削除する修正案が提出され、賛成多数で修正可決しました。

市長の不信任決議案が提出され 賛成少数で否決

市長の不適切な庁舎使用等の問題に対して、不信任決議に関する動議が提出されましたが、現在、百条委員会において調査中であるため、報告書の提出後に、議会の総意で判断すべきとの反対意見が多数を占め、結局、賛成少数で否決となりました。

意見書

3月定例会においては、次の意見書を探択し、関係機関に送付しました。

○女性差別撤廃条約の実効性を強化するための環境整備を整え、選任議定書の速やかな批准を求める意見書

1月臨時会

1月29日に臨時会を開会し、市長から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、介護、障がい福祉及び障がい児通所支援サービスを提供する市内の事業所に対する追加支援給付金や利用料金制度を活用している指定管理者に対する補助金に係る一般会計補正予算案1件が提出され、支援給付金のスケジュールや指定管理者に対する補助金の積算根拠などについて質疑が交わされましたが、結局全会一致で可決しました。

また、1月18日に開催された市の総合政策会議における、富田市長の「百条委員会の調査後、議会より不信任決議が出て民意を問いたい」、議会からは「辞職勧告決議が出てくると聞いている」との不穏当な発言に対し、発言の撤回や謝罪を求めたが、それらがなかったため、「議会に不信任決議を求めなければ、進退を決められない市長の資質を疑うものであり、自身の発言に責任を持ち、反省されたい」との意見表明が行われました。

最後に、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の抜本的な強化・拡充を求める意見書」を採択し、閉会しました。

○市長提出議案及び議決の結果（1月臨時会・3月定例会）

議 案 名	議決の結果
令和2年度池田市一般会計補正予算（第13号）	原案可決（全員異議なし）
処分報告について 専決第1号 池田市国民健康保険条例の一部改正について	承認（全員異議なし）
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市ながらスマホの防止に関する条例の制定について	原案可決（全員異議なし）
池田市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償条例の一部改正について	否決（賛成少数）
池田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市重度障がい者医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市介護保険条例等の一部改正について	原案可決（賛成多数）
池田市指定居宅介護支援事業者の指定並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市建築基準法施行条例等の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
池田市地域公共交通会議設置条例の一部改正について	原案可決（全員異議なし）
財産の無償譲渡について	原案可決（全員異議なし）
池田市道路線の認定について	原案可決（全員異議なし）
財産区管理委員の選任について	同意（全員異議なし）
令和2年度池田市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市一般会計補正予算（第14号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市病院事業会計予算	原案可決（賛成多数）
令和3年度池田市水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市公共下水道事業会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市国民健康保険特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和3年度池田市財産区特別会計予算	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市介護保険事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和3年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決（賛成多数）
令和3年度池田市一般会計予算	修正可決（賛成多数）
（仮称）池田地域交流センター新築工事請負契約の締結について	原案可決（全員異議なし）
令和2年度池田市一般会計補正予算（第15号）	修正可決（全員異議なし）
（仮称）池田地域交流センター新築工事請負変更契約の締結について	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）
令和3年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全員異議なし）

○議会・議員提出議案及び議決の結果（3月定例会）

議 案 名	議決の結果
特別委員会委員長の選任について	選任（全員異議なし）
特別委員会副委員長の選任について	選任（全員異議なし）
特別委員会委員の辞任及び選任について	許可及び選任（全員異議なし）
池田市議会会議規則の一部改正について	原案可決（全員異議なし）

代表質問

日本共産党議員団

藤原美知子 山元 建
小林 吉三



発言者 小林 吉三

安心・安全なまちづくりへ
新型コロナウイルスを克服する施策を

問 新型コロナウイルス再拡大抑止へPCR検査の拡充を

新型コロナウイルス再拡大を抑えるため、社会的検査を高齢者施設と障がい者施設の職員だけでなく、医療機関など対象施設の拡大と対象者を広げるよう求める。

府内では保健所の逼迫や医療崩壊が事実上起きるなど、保健医療体制の脆弱さが明らかになった。

府に対し、保健所体制の強化を求めよ。また、公立病院の重要な役割が明らかになった。市立池田病院がゆとりのある体制で、公立病院として危機に対応できるよう、国・府に支援を求め、市としても支援を強めるべきではないか。

答 検査拡大は困難
国・府に病院支援を求める

福祉施設での検査拡充は必要に応じ、府が実施しない場合は、市独自で行うことも重要。保健所については、現場の疲弊はあるが、国が対応していると考ええる。

新型コロナウイルスの動向が見えず、今後市立池田病院から関係団体を通じて国や府に必要な支援を求める。

問 住宅の充実へ五月ヶ丘住宅存続を

住宅の充実を掲げながら、市営住宅は削減している。新型コロナウイルスもあり住宅困窮は広がっている。

五月ヶ丘住宅は高齢で移動困難な状況があり存続を。また市営住宅全体の拡充も必要ではないか。

答 五月ヶ丘住宅で
移転困難者に配慮を検討

市営住宅の管理戸数は、住宅困窮者の状況も踏まえ、見直しの検討を行う。五月ヶ丘住宅は意向調査中で、高齢者や障がい者など弱者への配慮はしっかりやっていく。

問 阪急石橋阪大前駅周辺の高架化は地元の声か

石橋地区のビジョンを示すため、石橋阪大前駅の鉄道高架化について検討しているが、広く地元の意見を聞いた上での計画か。

答 調査結果をもとに
地元・関係機関と協議

過去より地元と協議を重ねてきたが事業化に至らず。技術的視点から可能性を検討する。

問 行政のデジタル化では個人情報保護の強化を

日本のデジタル分野での個人情報保護は脆弱であり、国の法制では個人情報を守れない。行政のデジタル化の前に個人情報を保護する条例を制定すべき。市政のデジタル化については、市民の納得と合意を進めるべきではないか。

答 国のデジタル法制を踏まえ
処置を講じる

国の動向を踏まえ、必要な処置を講じる。デジタル化施策の実施に際しては、必要な手続を行う。

問 新学校給食センターで不具合が続く問題

ごはんやおかずの不足など、給食の不具合が続いている。不具合は大きな事故の兆候とも見える。初の民間委託で、5年もの長期契約をしたのは問題ではないか。

答 不具合で児童・生徒に
迷惑や心配をかけ遺憾

供用開始へ万全な体制づくりに努めてきた。今後も職員・業者が綿密に連携し、安全・安心な給食の提供に努める。



各派



発言者 安黒 善雄

大阪維新の会池田議員団

安黒 善雄 三宅 正起
瀧澤 智子

コロナ禍の中で 重要課題に全力で取り組む必要あり

問 にぎわいと活力あふれるまちにするためには

答 過密回避や居心地のよい環境へのニーズが高まっている中、池田駅前のせせらぎモールを中心にオーブンテラスを造るなど、駅前空間の利活用について、見解を問う。

問 各団体とも連携を図り検討する

答 せせらぎモールを中心としたにぎわい創出のために、隣接するサンシティ池田や阪急ブランマルシエだけでなく、市内の様々な企業、団体とも連携しながら、利便性や快適性そして安全性も踏まえ、活用方法を検討していく。

問 さくら通りの現状と今後について

答 まちのにぎわいは、人の動線づくりから始まる。どのようなビジョンで、駅前から五月山緑地への動線をつくられるのか。

問 桜の植え替えやベンチ設置工事を実施

答 五月山緑地に向かうハローワーク池田から国道176号までのさくら通りの区間で、地域のにぎわいを創出するための工事を実施中。今年度中には完成する予定。

問 借上げ住宅である五月ヶ丘住宅の今後は

答 本市の住宅政策で、あと2年後に迫る借上げ住宅の期限に対して、コロナ禍の中で、本気で高齢者に住み替えを望んでいるのか。

問 住み替え困難な世帯に対して対応を検討中

答 高齢者世帯の住み替えは安全・安心で快適な生活への配慮が必要。今後、入居者への意向調査結果や心身の状況を踏まえ、検討する。

問 健康でいきいきと暮らせるまちについて

答 コロナ禍の中で、人との距離を意識した現在、高齢者福祉・介護の充実を図ることができているのか。

問 高齢者の自立支援と要介護の重度化防止に力

答 地域包括支援センターと連携し、身近に相談・支援を受けられることが安心につながる。制度の持続可能性を確保しつつ、高齢者に必要なサービスを提供する。



問 バリアフリー化に係る助成について

答 マンションの共用部の浸水対策及び避難路のバリアフリー化に係る助成は。

問 既存マンションの共用部対策助成は困難

答 平成21年から民間の一定規模（2千㎡以上または50戸以上）を有する新築マンションの共用部は、大阪府福祉のまちづくり条例でバリアフリー化させている。既存マンションの浸水対策及び避難路のバリアフリー化助成は困難。

問 地域分権制度の今後の在り方について

答 令和3年度の地域分権の在り方と今後の市の方針は。

問 制度改変は令和5年度に結論予定

答 令和3年度予算の提案額は、前年度と比べ約半額で、各地域の工夫を凝らした提案を頂いた。制度改変とコミュニケーション推進は別で、新年度はウェブ会議を使って組織強化や課題解決を図り、制度は令和5年度に改変予定である。

代表質問

自民同友会議員団

小林 義典

細井 馨

浜地慎一郎

西垣 智



発言者 小林 義典

未来に希望が持てる
安全・安心なまちづくりの推進

問 新型コロナウイルス感染症への対応方針は

新型コロナウイルス感染症に対する具体的な対応方針について問う。

答 感染予防対策周知と
ワクチン接種事業を推進

まずは、三密を避ける、手洗いの励行など感染予防対策をあらゆる媒体を通じて周知し、感染拡大を抑制すること。次に、適切な期間・場所・環境で市民の皆様が接種できるよう、新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施することで発生を予防し、まん延を防止できると認識している。

問 官民連携まちなか再生推進事業の内容は

池田駅周辺で官民一体となって未来ビジョンを検討し、多くの関係者と連携しながら持続的なまちづくりを目指す官民連携まちなか再生推進事業の事業内容を問う。

答 将来の池田駅周辺の在り方を
官民連携で推進

駅前で活動等をされている事業者や団体、地権者等の方々とプラットホームを組成し、将来の池田駅周辺の在り方や未来ビジョンの共有を図りながら、駅周辺の

パブリック空間の活用や創出、シティプロモーション等を官民連携で進めていく。

問 留守家庭児童会の
早期対象学年拡充を求める

現在待機児童はどの程度発生している、解消はできるのか。また、対象学年の拡大はいつ実施できると考えているのか、見解を問う。

答 実現に向け
教育委員会と協議を続けたい

令和3年3月現在、入会要件を満たされる方については、全員受け入れを行っており、待機児童は発生していない。学年拡大については、令和2年3月に策定した第2期子ども・子育て支援事業計画において、留守家庭児童会の拡充を重点施策と位置づけ、令和6年度に小学6年生までの受け入れを目標としている。

問 早期発見のため
各種がん検診の無料化を望む

令和3年度は広く周知する必要があるため、罹患率が上昇する年齢層を重点的に受診勧奨していくということだが、無料化することで確実に受診率向上の効果があると思うが、各種がん検診の無料化についての見解を問う。

答 各種がん検診の無料化について検討していく

受診者数向上については、市民への一部負担金が必要な要因であると思われるが、まずはがん検診受診率向上に効果の大きい、はがきでの個別通知で受診勧奨を行い、受診率を検証した上で、すでに無料化の乳がん検診を除く他のがん検診の無料化についても検討していく。

問 就学前教育と義務教育との
接続について

就学前と義務教育とのスムーズな接続ができるようサポートすることだが、実現方法を問う。

答 共通理解を図り
池田の子どもの育ちを育む

幼小の交流・連携、教職員の研修等を通して共通理解を図り子どもの育ちを切れ目なく育てていく。



各派



発言者 荒木 眞澄

公明党議員団

荒木 眞澄 多田 隆一
藤本 昌宏

今こそ、市民を価値の中心に置く
対話と合意の市政を！



問 孤独・孤立対策の
専門的支援体制の構築を

社会的に孤立している人たちがどう見つけ出し、支援につなげるかは喫緊の課題であり、実態の把握や支援策の検討が急がれる。

国・府をはじめ、また困窮者支援などに取り組んでいる民間団体とも連携しながら、計画的かつ早期にフックアップにて対応が図られる専門的支援体制を構築すべきと考えるが、見解を問う。

答 地域福祉計画の検討過程で
積極的に取り組む

8050問題などのひきこもりや虐待、生活困窮など、表面化しにくい社会的に孤立している人たちの把握や支援は、今後重要となる課題と認識。国の新たな事業である「重層的支援体制整備事業」の活用も含め、次期「池田市地域福祉計画」の策定に向けた検討過程において、積極的に取り組む。

問 安心して住み続けられる
住環境の提供を

高齢者や、低所得者の住環境は、ますます厳しいものとなっている。

そうした人たちに、安心して住み続けられる環境を提供し続けることも、基礎自治体の重要な役割であり、大切なセーフティネットの一つである。そこで、市営住宅をはじめとする、公営住宅などの必要性は今後ますます増大し、そうしたニーズに対応した新たな住環境の構築と拡充は、時代を見据えた、そして、これからの超高齢化時代に即した重要施策と考えるが、見解を問う。

答 住環境の整備について
検討を行う

公営住宅は住宅セーフティネットの根幹であり、真に住宅に困窮する低所得者に対して的確に提供できるよう、住宅の確保を図っていくことが必要と認識。今後は、新型「コロナウイルス感染症の影響に伴う住宅困窮者の状況や市民のニーズを踏まえ、既存民間住宅の活用を含めた住環境の整備について検討を行う。

問 本市あげての
CO₂削減の取組を

国連の「生物多様性サミット」でも、気候変動への取組は、新たな感染症を防止するための対策となっている。CO₂削減は市民レベルでも容易にできるため、本市あげて取り組み、拡大すべき重要施策と考えるが、見解を問う。

答 気候変動への取組を
推進していく

今後とも、市民、事業者、行政、各団体と共に、CO₂削減をはじめとした、気候変動への取組を推進していく。

問 地域公共交通の
具体的な実行計画の明確化を

超高齢社会へと突入した今、いよいよ具体的な実行計画を明確化し、現実的な交通手段を確保する時期と考えるが、見解を問う。

答 将来ビジョンや
事業体系を具体化していく

公共交通による移動サービスの重要性はますます高まるものと認識。地域にとって望ましい公共交通サービスの将来的なビジョンや事業体系を具体化していく。

代表質問

新生クラブ議員団

前田 敏 坂上 昭栄
下窄 明



発言者 坂上 昭栄

市民の声を形に
未来につながるまちづくり

問 池田駅周辺の歩道橋の整備について

約40年が経過し、老朽化が進む歩道橋の二ースは変化し、必要性や利便性を含め抜本的な見直しを行い、補強を含めた整備を進めるべきと考えるが、見解を問う。

答 長寿命化修繕計画に基づき順次修繕

横断歩道橋の維持管理コストがかさむため、必要性を見極め、撤去も選択肢の一つとして検討する。

問 阪急石橋阪大前駅周辺の鉄道高架化について

昭和57年の現況調査から始まり、平成2年に石橋駅前地区整備構想の策定に着手、平成5年、6年には石橋駅前東地区整備構想策定に向けた調査が実施された。コロナ禍で本当に必要な事業であるのか問う。

答 鉄道高架化に技術的視点から調査が必要

地元とともに協議や調査を重ねてきたが、事業化には至らなかつた経緯がある。最重要課題として老朽化した木造建物の密集、鉄道による地域の分断、駅前広場が未整備などの諸問題から、今後起こり得る東南海地震を見据えて、整

備方針を定める必要がある。

問 在宅医療・介護実現のウェブ活用について

ウェブを使うための機器の設置方法並びに、高齢者の利便性の追求とサービス享受の方策を問う。

答 市ホームページや市広報4月号に掲載し周知

医療・介護の情報を一括して掲載したウェブサイトを構築予定で、地図やサービスなど、必要な情報の検索が簡単に利用可能となる。

問 障がい者福祉等の充実について

社会参加の促進のため、具体的にどのような施策を検討するのか。

答 重度障がい者等の就労の機会を拡大

雇用施策との連携による就業・通勤中の支援施策として、現在支援の対象外となっている就業中、就業を伴う移動中、休憩時間中における日常生活上の介助を新たに対象とする。今後、相談支援機関との連携強化に努めつつ、就労の機会を拡大し、社会参加の促進に向け、支援を進める。

問 準防火地域の指定区域拡大について

拡大に伴う今後の進め方を問う。

答 コスト増加に対する補助制度等の検討を行う

感染症の影響が落ち着いた段階で、住民説明会等を開催し、市民の皆様に十分な説明を行うとともに、都市計画審議会にて審議する。

問 GIGAスクール構想の活用方法について

自宅でのタブレット活用で悩み事相談などのSOSをキャッチできる仕組みを構築できないか問う。

答 家庭学習への活用を本格的に開始する予定

令和3年度、市内全校において明らかにした課題を精査し、効果的な活用に向け、適切に学校を支援し、児童・生徒の課題や希望に応じた支援につなげるものとする。SOSを確実に早期に把握できる新たな体制づくりの研究に向け、情報収集等に努めていく。



各派



発言者 渡邊 千芳

青風会議員団

渡邊 千芳 山田 正司 川西 二郎
中田 正紀 守屋 大道

生きる力と思いやりのある
豊かな心をはぐくむ教育を！

問 質の高い幼児教育・保育をどう提供するのか

協調性や忍耐力などの人格形成を育むのは乳幼児教育にあると言われており、質の高い幼児教育・保育の提供を図ることは大切である。また、女性が働きながら子育てをしていく割合が多くなっているため、保育需要は多くなり、多様な家族構成の中、保護者一歩に依っていかねばならない。課題を抱える乳幼児も含め、一人一人をこのように育てていくのが。

答 幼児の発達の特性を踏まえた教育を推進する

就学前教育と義務教育の年間を通して、自己肯定感と自己決定力を持ち、未来への希望に満ちた豊かな人間性と確かな人権感覚を育むことが重要。幼児教育においては、幼児の発達の特性を踏まえ、一人一人の資質・能力を育むとともに友達と関わって遊ぶ中で、安心して自己を表出し、遊びを楽しむことができるような環境を整えることが大切。



問 コミュニティスクールの目指す方向性は

地域と保護者が参画した学校運営協議会としての「コミュニティスクール」は「ほそごう学園」だけが、他の4学園も目指すのか。

答 地域・保護者・教職員が共に学校をつくる

学校運営協議会は地域と学校の意見を交流させ、子どもを中心にして地域・保護者・教職員にとってもより良い学校運営をつくり上げることを目指している。池田でただ一つの「コミュニティスクールである「ほそごう学園」においては、学校運営協議会の委員による授業参観、委員による学校評価、そして学校の教育活動にも多数の地域や保護者の方が関わり、地域で子どもたちを育てる意識が高くなり、学校と地域の関わりがさらに深くなっている。今後は、他の4つの学園においても学校運営協議会を設置する「コミュニティスクール」へ移行するよう検討している。



問 池田・石橋の図書館の今後の方向性は

サンシティ池田にある図書館は町なかのにぎわい創出に努めるというが、どのような創出を考えているのか。また、石橋における図書館は子どもから大人まであらゆる世代が交流できる空間にしていきたいとのことだが、具体的なコンセプトは。

答 にぎわい創出や地域の情報発信の拠点に

サンシティ池田にある図書館は、駅前の立地を生かし、高齢者向けのスマートフォン体験教室や歯科クリニックによる子育て応援講座など、近隣店舗やボランティアと連携した行事を開催。今後も近隣店舗や施設等との連携をさらに拡大し、図書館来館をきっかけとして市民交流や駅前のにぎわいがつくれるようなイベントを検討。

石橋新図書館は、施設内の多文化共生施設や地域子育て支援拠点に加え、近隣の高校・大学とも連携し子どもたちからお年寄りまであらゆる世代が参加・交流できる行事や教室を実施し、地域の情報発信の拠点となる図書館を目指す。

委員会 レポート



3月定例会では、市長から提出された議案のうち23件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月29日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案は、1件は否決、1件は修正可決し、残り21件はいずれも可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

顧問業務に対する評価と

令和3年度の業務内容について

《一般会計予算》

問 顧問業務に係る臨時的人件費事業の報酬として、240万円を予算計上している。

令和2年度における主な顧問業務の内容としては、事務事業の第2次見直しを行ってきたものであるが、顧問業務に対する評価と令和3年度に予定している顧問業務の内容について問う。

**有益な助言をいただいたと評価
引き続き、事務事業見直しを予定**

答 令和2年度における主な顧問業務については、市政顧問には、補助金や助成金を含む事務事業の第2次見直しに係る助言を、技術顧問には、池田駅前再整備等に係る交渉や技術的な助言をいただいた。

これまで顧問の経験を基にいただいた助言は、本市、ひいては市民にとって大変有益なものであったと、評価している。

したがって、今後実施予定の第3次・第4次事務事業の見直しにおいても、顧問の知見が必要不可

欠であると考えるため、令和3年度も引き続き、御助力いただきたく考えている。

文教病院委員会

小・義務教育学校の屋内運動場の空調機器整備スケジュールは

《一般会計予算》

問 本委員会からの予算決算審査サイクルの提言案を反映した、小学校空調機器整備事業費は、工事請負費として6億2千万円を予算計上している。

本事業は、本定例会初日に議決した呉服小学校分の繰越明許費補正とあわせて、令和3年度中に市内の全小学校及び義務教育学校の屋内運動場に空調機器を整備するためのものである。

空調機器の熱源の種類及び整備スケジュールについて問う。

また、工事期間中の代替施設の検討は行っているのか。

**令和4年2月末頃の
工事を完了を目指す**

答 空調機器の熱源の種類については、屋内運動場が災害時の避難場所となった際にも空調機器が活用できることを想定し、電気、都

厚生委員会

重度障がい者タクシー料金補助事業の概要は

《一般会計予算》

問 今回、新規事業として、重度障がい者タクシー料金補助事業を1232万9千円予算計上しているが、本事業の概要及び予算提案に至った経緯について問う。

**重度障がい者に対して
タクシー運賃の一部を助成**

答 本事業の概要は、重度障がい

市ガス及びプロパンガスの中で熱源とした場合の設置コストとランニングコストの比較を行い、各校ごとに安価な熱源を選択した。

また、整備スケジュールについては、5月から6月頃に入札を行い、業者決定後、まず、外構工事を行った後、屋内工事は運動会や学習発表会等の学校行事を考慮して11月頃から開始し、令和4年2月末頃の工事を完了を目指す。

なお、工事期間中は屋内運動場が使用できないため、近接中学校等で活用可能な施設が使用できるよう、各学校等と十分協議して、対応したいと考えている。

**「ながらスマホ」の防止には
学校教育現場での指導が有効では**
《ながらスマホの防止に関する条例の制定》

問 今回の提案は、スマートフォンや携帯電話等を操作または注視しながら、歩行または自転車の運転を行う、いわゆる「ながらスマホ」が交通事故やトラブルの原因となり社会問題化していることから、「ながらスマホ」の防止に関する

土木消防委員会

者に対し、タクシー運賃の一部を助成する制度で、タクシー運賃精算時に使用できるチケットを年間24回配布するものである。

利用者数は、他市における同制度の運用状況を踏まえ、本市在住の重度障がい者の約45%、830名を見込んでいる。

また、予算提案に至った経緯については、令和2年6月に大阪視覚障害者の生活を守る会より、視覚障がい者を対象としたタクシー料金の補助に対する要請書の提出があったことを受け、庁内で検討した結果、視覚障がい者だけを対象とするのではなく、本市在住の全ての重度障がい者を対象としたタクシー料金補助事業としたものである。



る市の施策の推進及び市民等の意識の啓発を図り、市民等が安心して快適に通行することができ公共の場所の確保に資するため、本条例を制定するものである。

「ながらスマホ」は、一般的に若い世代に多く見られるため、「ながらスマホ」を防止するには、本条例の制定に加えて、学校教育において指導することが有効だと考えるが、見解を問う。

**教育委員会と連携し
「ながらスマホ」防止に取り組む**

答 指摘のとおり、「ながらスマホ」は、習慣の要素が大きいことから、学校教育の場において指導を行うことは非常に重要だと考えており、教育委員会とも連携を図りながら「ながらスマホ」の防止に取り組んでいきたいと考えている。

議 会 日 誌

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月18日(火)に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会日は、いずれも午前10時からです。(定員あり)

6月4日(金)	本 会 議
6月8日(火)	委 員 会
6月10日(木)	委 員 会
6月14日(月)	委 員 会
6月15日(火)	委 員 会
6月24日(木)	本 会 議
6月25日(金)	本 会 議

※傍聴される場合は、マスクの着用及び入場時の消毒液による手洗いの徹底にご協力いただきますよう、お願いいたします。

1 月	1月22日 各派代表者会議 議会運営委員会 臨時会	1月29日 臨時会
2 月	2月5日 百条委員会 2月8日 各派代表者会議 2月12日 百条委員会 2月24日 百条委員会 2月25日 予算内示会	2月25日 各派代表者会議 議会運営委員会
3 月	3月1日 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会	3月4日 百条委員会 3月8日 市議会定例会 3月9日 市議会定例会 3月11日 土木消防委員会 3月12日 百条委員会 3月15日 厚生委員会 3月16日 文教病院委員会 3月18日 総務委員会 3月25日 百条委員会
4 月	4月7日 市議会だより編集 特別委員会 4月8日 各派代表者会議 4月12日 百条委員会 4月13日 市議会だより編集 特別委員会	3月30日 各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会 議会運営委員会



富田裕樹市長の不適切な庁舎使用等に関する調査特別委員会(百条委員会)の開催概要について

令和2年11月26日の臨時会において設置された本委員会において、市長や両副市長、職員等への証人喚問を行うなど、計11回にわたり調査を進めてきました。その中で、サウナ等の私物の設置や撤去にかかる経緯、議会等における虚偽答弁の内容、パワハラ疑惑等について、事実が明らかになり、各委員から、「3つの調査項目すべてにおいて、問題があると判断せざるを得ない」「行政の長たる市長としての資質が著しく欠けている」などの見解が述べられました。

そして、4月12日の本委員会において、調査報告書(案)を全会一致で可決し、議長に提出しました。

◆これまでの開催概要

開催日	案 件
【第5回】 令和3年 2月5日(金)	・証人喚問 ・今後の調査の進め方等について
【第6回】 令和3年 2月12日(金)	・次回の委員会での出頭を求める証人について ・証人尋問事項の協議について ・証人出頭要求について
【第7回】 令和3年 2月24日(水)	・証人喚問 ・その他

開催日	案 件
【第8回】 令和3年 3月4日(木)	・証人喚問 ・その他
【第9回】 令和3年 3月12日(金)	・証人喚問 ・その他
【第10回】 令和3年 3月25日(木)	・調査事項についての見解の取りまとめ ・調査報告書(案)の作成について
【第11回】 令和3年 4月12日(月)	・告発について ・調査報告書(案)について ・記録の返還について

※開催実績及び会議録並びに調査報告書(案)については、ホームページに掲載しております。

「予算決算審査サイクル」議会からの提言について

昨年12月に、令和3年度の予算編成に向けた、12の提言を市長に提出し、左記のとおり、7つの提案が反映され、残り5つの提案は継続検討されることになりました。(主な反映結果)

- 資源のみの再資源化の推進について
↓「レジ袋」及び「ペットボトル キャップ・ラベル」をトレイ類として分別収集を開始予定
- 体育館(屋内運動場)の改修について
↓空調設備を、令和3年度に小学校及び義務教育学校に、令和4年度に中学校に整備予定
- 五月山体育館の早期改修の実施について
↓屋上防水改修工事等を予定(その他)
- コロナ禍における令和3年度の予算編成について
○スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの全小・中学校及び義務教育学校への配置拡充、並びに教育センターの生徒指導担当の増員について
- B・DASHプロジェクト実証施設の購入について
- 公園の整備について

やまばと

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となっております。本市にとっても、「変化の時」を迎えております。そういう時にこそ市民の皆様様に、軸足を置いた施策に取り組んでまいります。

さて、本紙では、令和3年度「施政及び予算編成方針」「教育方針と主要施策」に対する各派代表質問をはじめ、各常任委員会における令和3年度の予算審議等の内容を掲載させていただきます。

私たち編集委員は、今号で最後となります。この一年間のご愛読、誠にありがとうございました。次号からは新編集委員が、よりよい紙面づくりを目指して取り組んでまいります。

引き続き、「いけだ市議会だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。

市議会だより編集特別委員会

委員長	藤本 昌宏
副委員長	小林 吉三
委員	守屋 大道
委員	瀧澤 智子
委員	小 林 義典
委員	坂 上 昭栄